

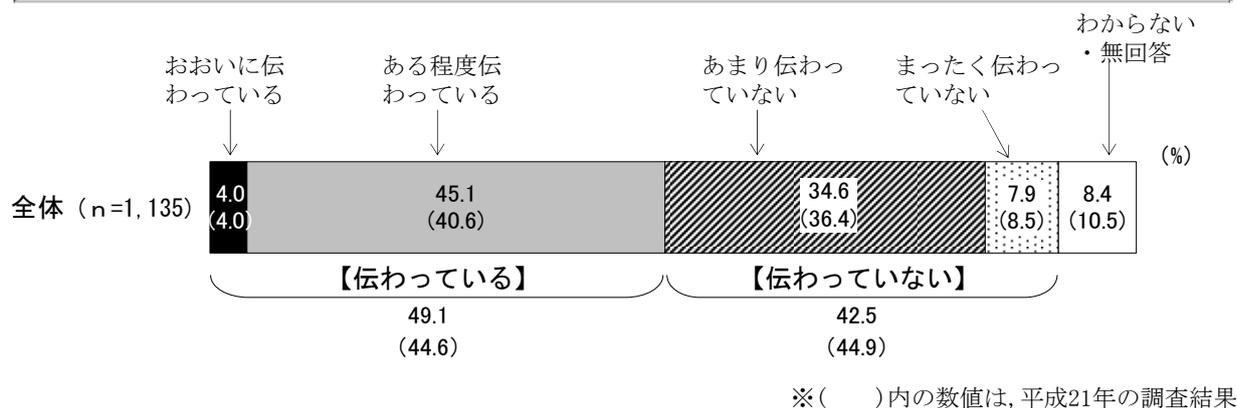
XI 広報活動

1. 県政情報の到達度

—【伝わっている】と【伝わっていない】がそれぞれ4割台—

問36 本県では県民の皆さんに、県の仕事内容、計画、行事などをさまざまな方法 ※ によりお知らせしていますが、県政情報の到達度はいかがですか。次の中から1つだけ選んでください。

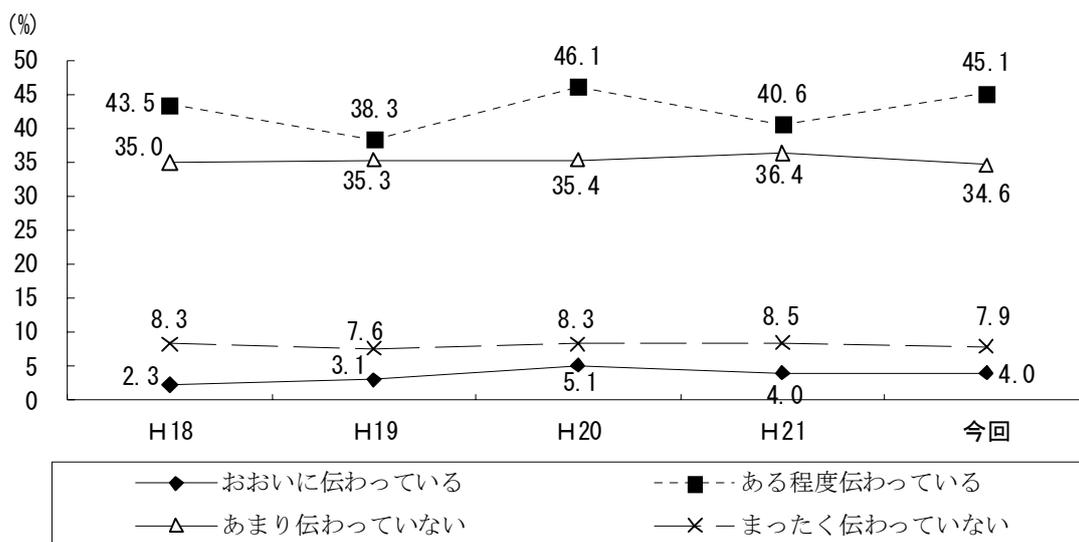
※ 県広報紙「ひばり」や新聞広告、テレビ広報「おはよう茨城」やラジオ放送、県のホームページなどインターネットを活用した情報配信など



県政情報の到達度としては、「おおいに伝わっている」(4.0%)と「ある程度伝わっている」(45.1%)を合わせた【伝わっている】(49.1%)は約5割である。一方、「あまり伝わっていない」(34.6%)と「まったく伝わっていない」(7.9%)を合わせた【伝わっていない】(42.5%)は4割を超えている。

前回調査と比べると、「ある程度伝わっている」は、約5ポイント増加している。

図XI 36-1 県政情報の到達度(時系列)



－【伝わっている】は、県央で6割近くを占める－

地域別でみると、【伝わっている】は、県央（58.6%）で6割近くを占めて特に高くなっている。

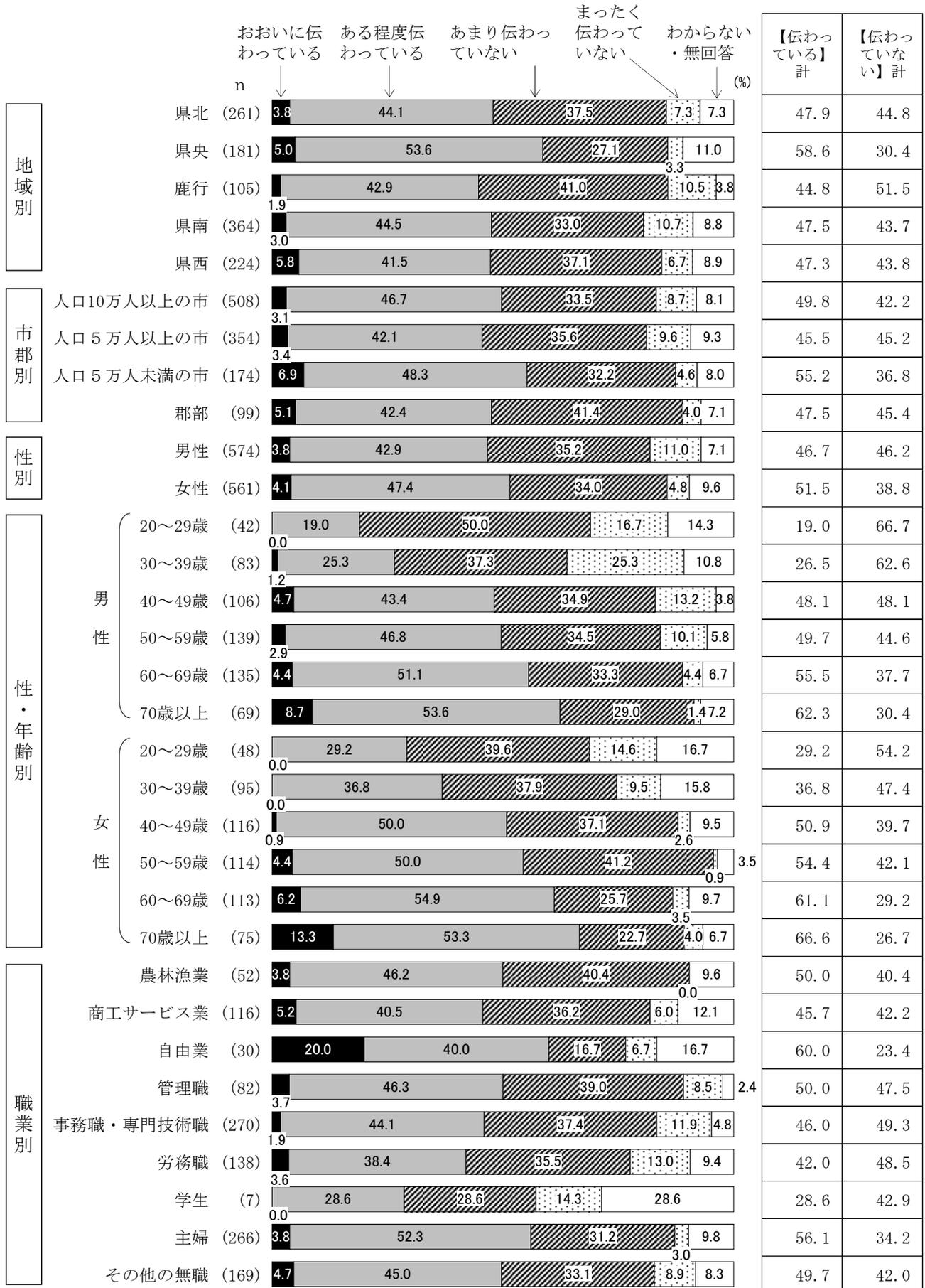
市郡別でみると、【伝わっている】は人口5万人未満の市（55.2%）が5割台半ばで最も高くなっている。

性別でみると、「まったく伝わっていない」は、男性（11.0%）が女性（4.8%）より約6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、男女ともに20代、30代で【伝わっていない】が【伝わっている】を上回り、男性の40代では、【伝わっている】と【伝わっていない】が同率となっている。また、男性の50代以上と女性の40代以上では、【伝わっている】が【伝わっていない】を上回り、【伝わっている】は、男性の70歳以上（62.3%）と女性の60代（61.1%）、70歳以上（66.6%）で6割を超え高くなっている。

職業別でみると、【伝わっている】は、農林漁業（50.0%）、自由業（60.0%）、管理職（50.0%）、主婦（56.1%）で5割を超えている。

図 XI 36-2 県政情報の到達度（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）

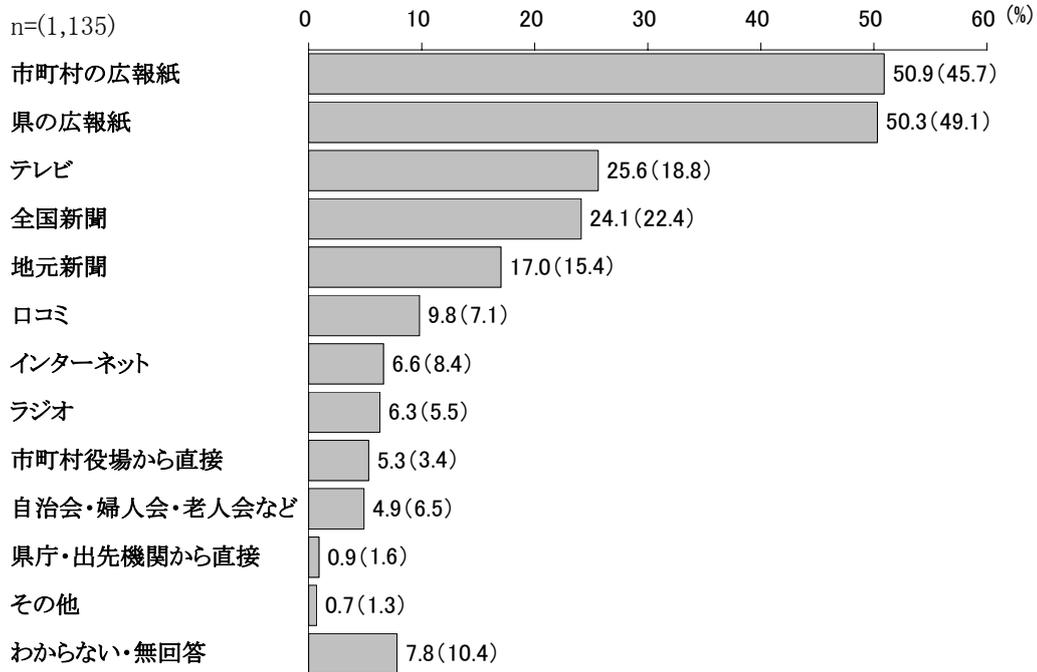


(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

2. 県政情報の主な入手先

—「市町村の広報紙」と「県の広報紙」が5割を超える—

問37 あなたは、県政情報を主にどこから入手していますか。次の中から、主なものを3つまで選んでください。

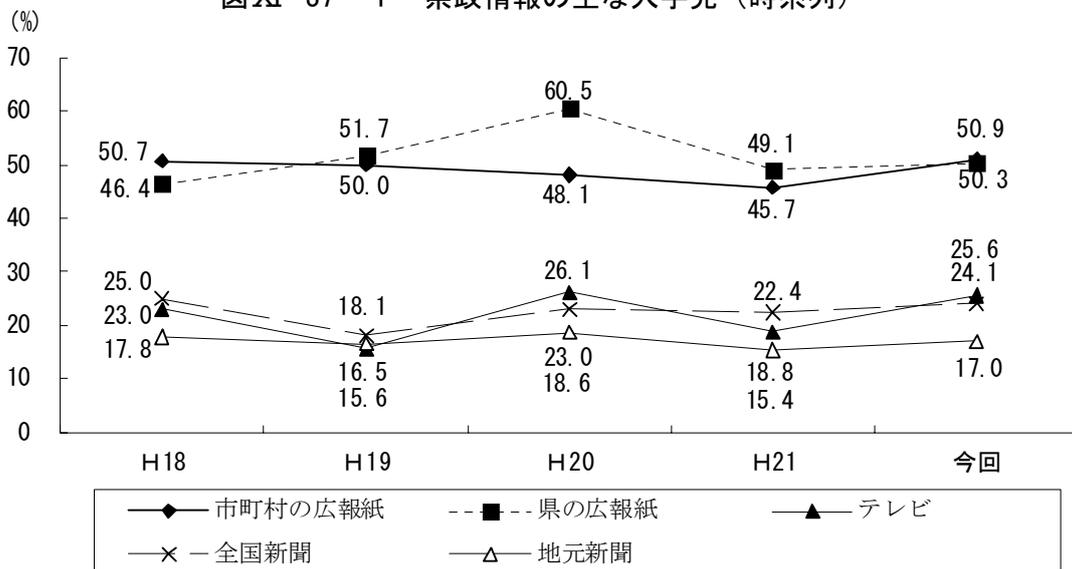


※()内の数値は、平成21年の調査結果

県政情報の主な入手先としては、「市町村の広報紙」(50.9%)、「県の広報紙」(50.3%)が約5割で高く、この2項目が突出している。次いで、「テレビ」(25.6%)、「全国新聞」(24.1%)、「地元新聞」(17.0%)の順となっている。

前回調査と比べると、「市町村の広報紙」は約5ポイント、「テレビ」についても約7ポイントともに増加している。

図 XI 37-1 県政情報の主な入手先 (時系列)



—「市町村の広報紙」は女性の50代で約7割—

地域別でみると、「市町村の広報紙」は、県北（51.7%）、県央（50.8%）、鹿行（50.5%）、県西（54.5%）で5割を超えており、県南（48.4%）でも約5割となっている。また、「県の広報紙」は、県央（53.0%）、鹿行（53.3%）、県南（51.9%）、県西（50.0%）で5割を超えているが、県北（45.2%）では4割台半ばとなっている。この他、「全国新聞」は県南（30.8%）で、「地元新聞」は県央（22.1%）で、やや高くなっている。

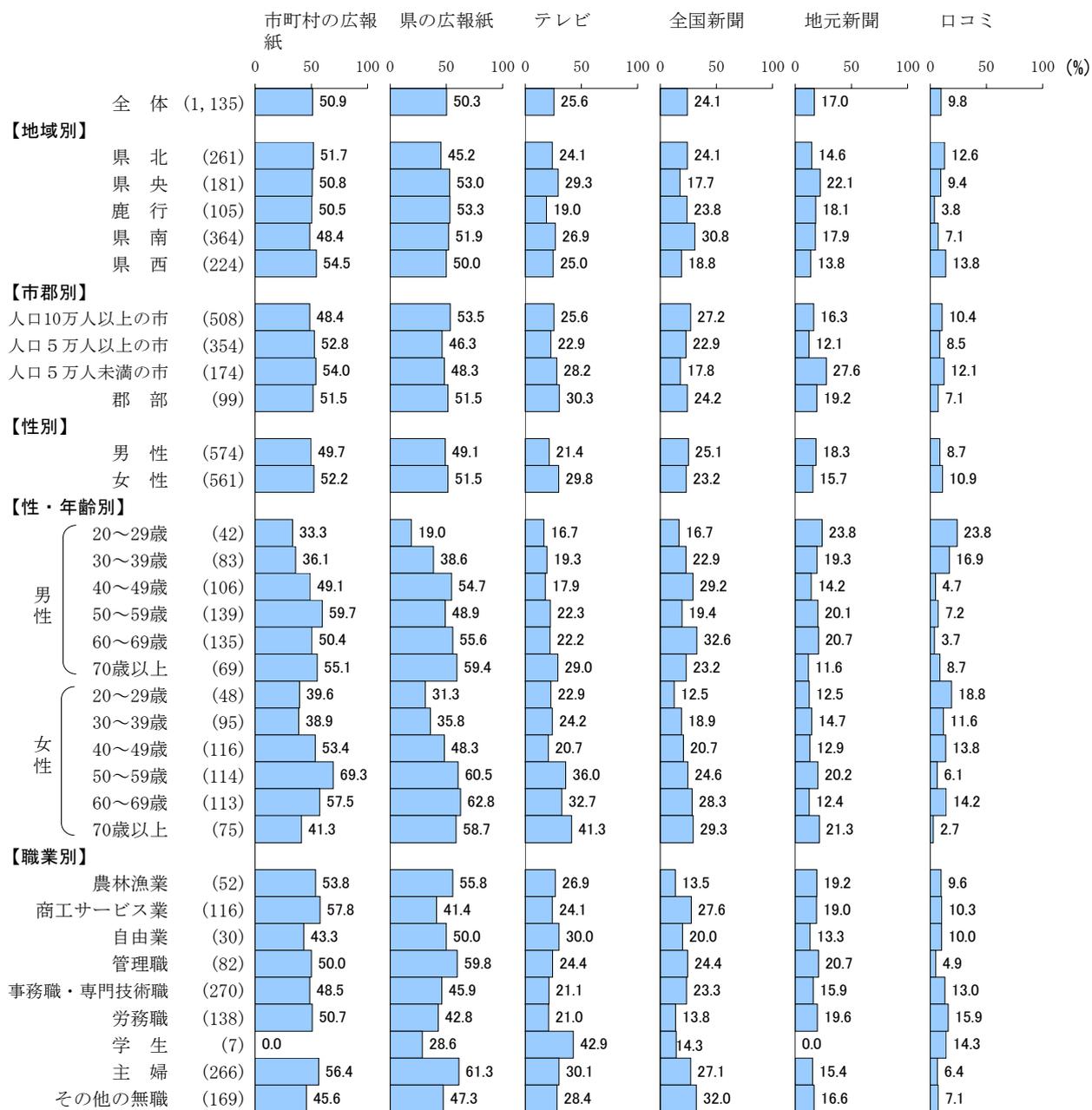
市郡別でみると、「地元新聞」は、人口5万人未満の市（27.6%）で2割台半ばを超え最も高く、他の層では1割台となっている。また、「市町村役場から直接」は、郡部（16.2%）で1割台半ばを超え最も高くなっている。

性別でみると、「テレビ」は、女性（29.8%）が男性（21.4%）より約8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「市町村の広報紙」は、男性の50代（59.7%）、70歳以上（55.1%）で5割台半ばを超え、女性の50代（69.3%）で約7割と最も高くなっている。また、「県の広報紙」は、男性では40代、60代以上の年代で5割を超え、女性では50代以上の年代で6割前後となっている。この他、「テレビ」は女性の70歳以上（41.3%）で4割を超え最も高く、「ロコミ」は男性、女性とも20代が最も高く、「市町村役場から直接」は男性の70歳以上（15.9%）が1割台半ばを超え高くなっている。

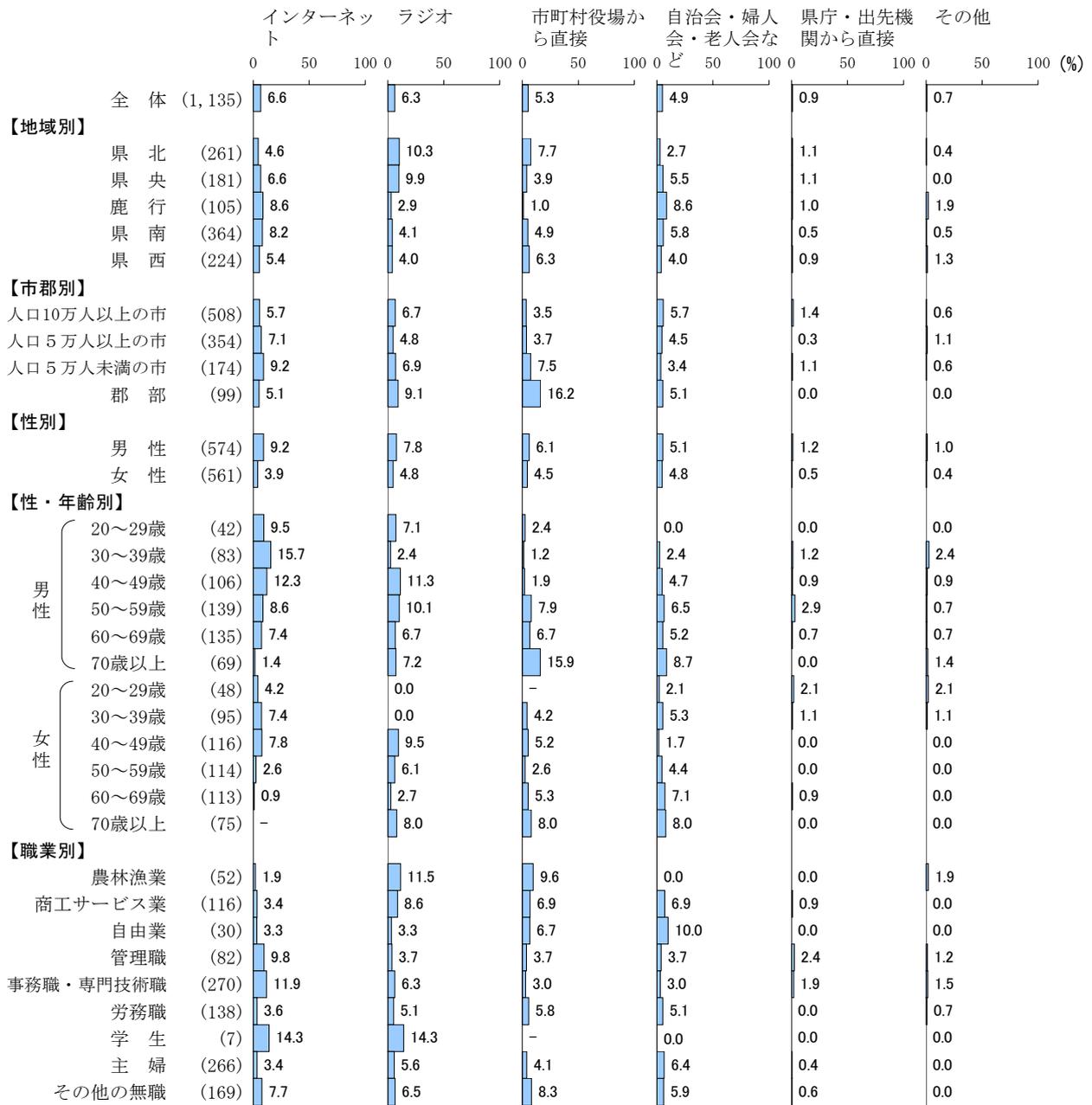
職業別でみると、「市町村の広報紙」は、商工サービス業（57.8%）、主婦（56.4%）で5割台半ばを越えている。また、「県の広報紙」は、管理職（59.8%）、主婦（61.3%）で6割前後と高くなっている。この他、「テレビ」は、自由業（30.0%）、主婦（30.1%）、その他の無職（28.4%）、「全国新聞」はその他無職（32.0%）で3割前後とやや高くなっている。

図XI 37-2 県政情報の主な入手先
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

〈続き〉 図 XI 37-2 県政情報の主な入手先
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



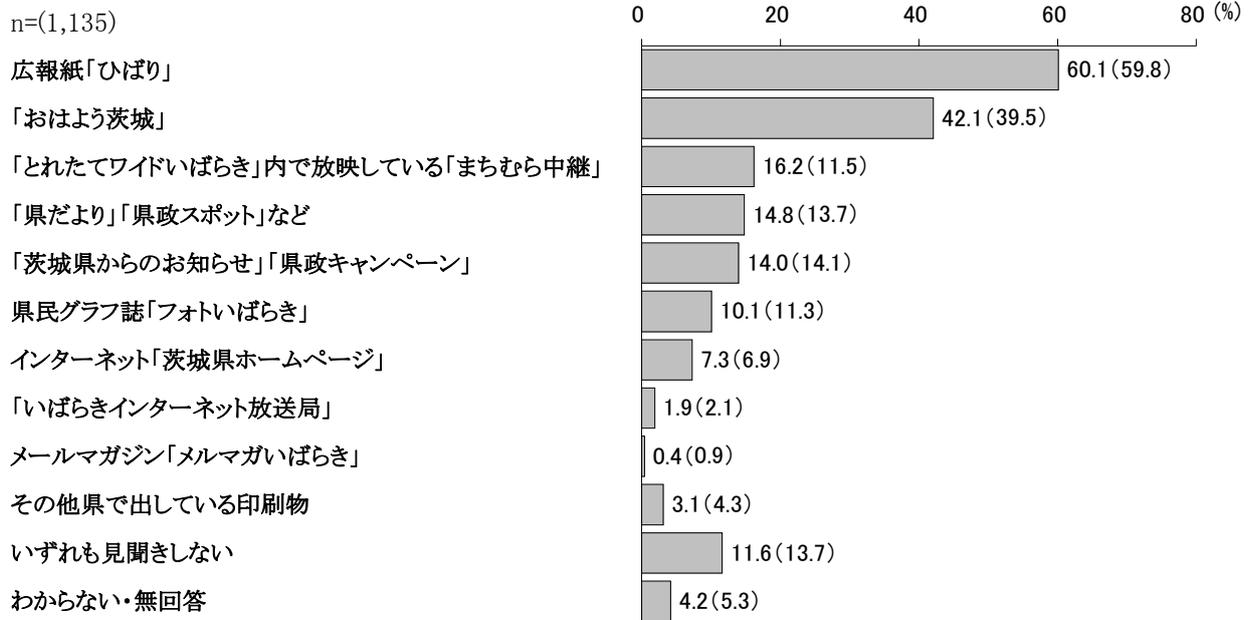
(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

3. 最近接触した広報媒体

(1) 最近接触した広報媒体

— 広報紙『ひばり』が約6割で最も多い —

問38 県政情報について、この1年の間に一度でも見たり、聞いたり、読んだりしたものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

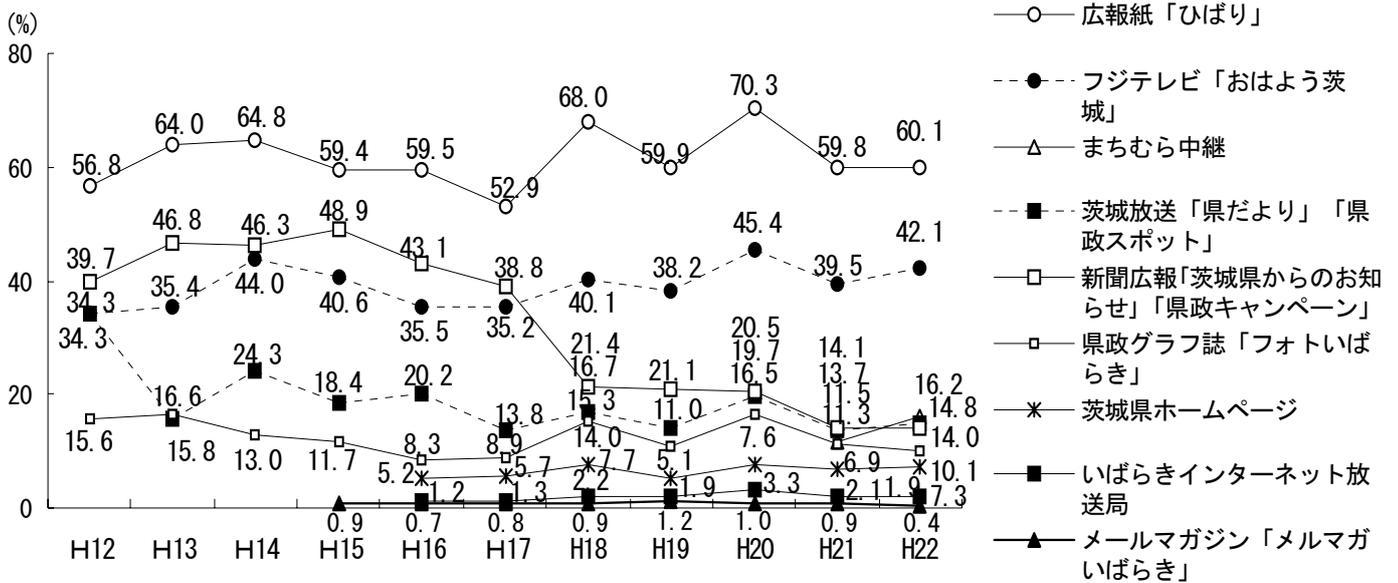


※()内の数値は、平成21年の調査結果

最近接触した広報媒体としては、「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』」(60.1%)が約6割で最も高く、次いで、「毎週日曜、朝6時15分～30分にフジテレビで放映している『おはよう茨城』」(42.1%)が4割を超え、続いている。以下、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』(月～金11時30分～12時)内で毎月第1木曜に県庁から放映している『まちむら中継』」(16.2%)、「茨城放送で放送している県からのお知らせ『県だより』『県政スポット』など」(14.8%)、「新聞広告により政策的に広報している『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』」(14.0%)、「公共施設、銀行、病院、理・美容所、書店などにおいてある県民グラフ誌『フォトいばらき』」(10.1%)が1割台で続いている。

前回調査と比べると、「毎週日曜、朝6時15分～30分にフジテレビで放映している『おはよう茨城』」が約3ポイント増加しているほか、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』(月～金11時30分～12時)内で毎月第1木曜に県庁から放映している『まちむら中継』」が約5ポイント増加している。

図 XI 38-1 最近接触した広報媒体（時系列比較）



※平成9年までは「県政スポット」ではなく「ラジオ県民室」

※メールマガジン「メルマガいばらき」は平成15年度より追加

※「茨城県ホームページ」および「いばらきインターネット放送局」は平成16年度より追加

※「まちむら中継」は平成21年度より追加

一 広報紙『ひばり』は、県西で6割台半ば、『まちむら中継』は、県央で3割を超える一

地域別でみると、「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』は、県西（64.7%）で6割台半ばと最も高く、県央（61.3%）、鹿行（62.9%）、県南（59.1%）でも6割前後となっているが、県北（55.6%）では6割を下回っている。「毎週日曜、朝6時15分～30分にフジテレビで放映している『おはよう茨城』は、県央（49.2%）、県西（47.3%）が4割台半ばを超え高くなっている。また、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』（月～金11時30分～12時）内で毎月第1木曜に県庁から放映している『まちむら中継』は、県央（33.7%）で3割を超え、最も高くなっている。「茨城放送で放送している県からのお知らせ『県だより』『県政スポット』など」は、県央（23.2%）で2割を超え、最も高くなっている。

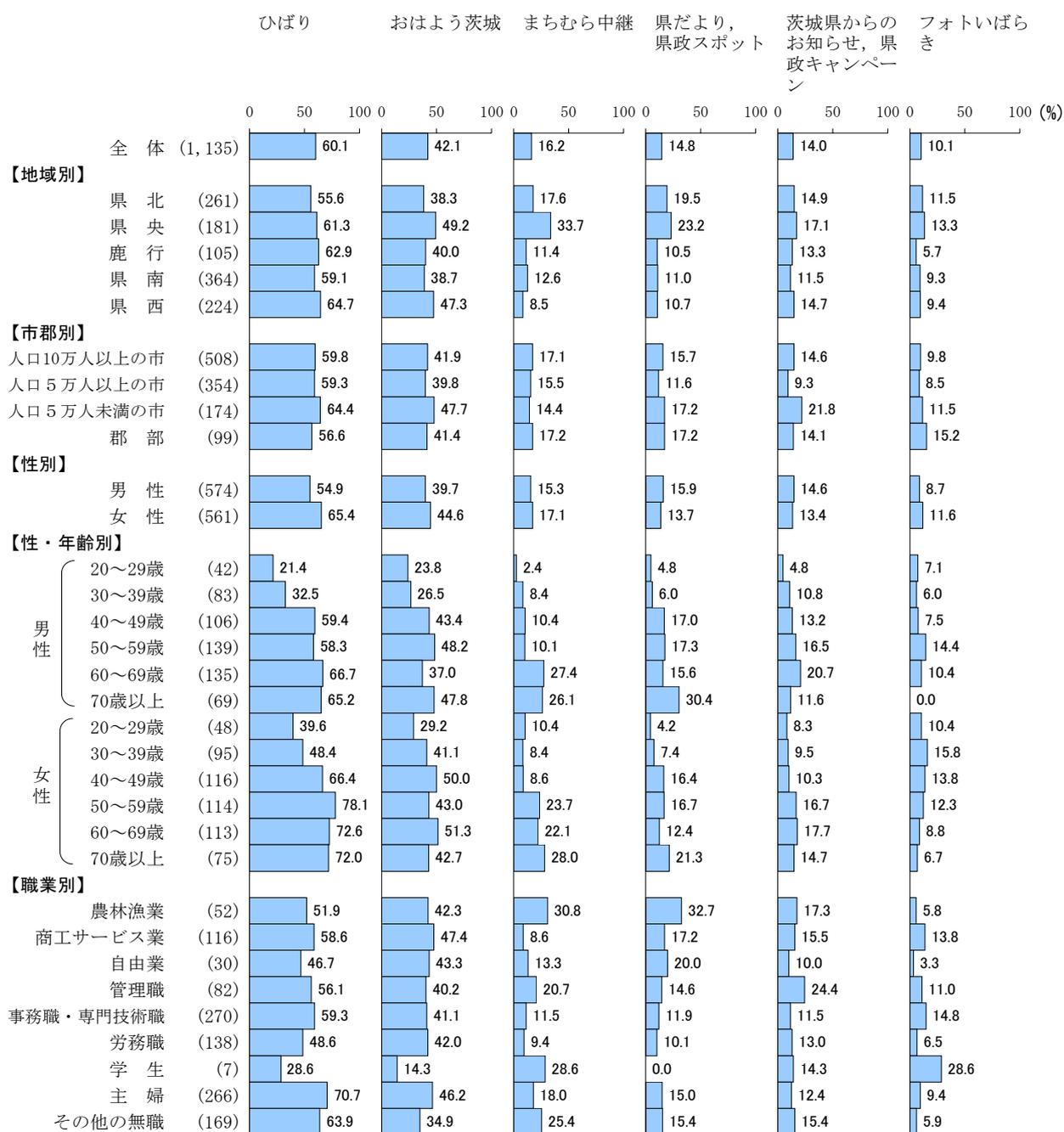
市郡別でみると、「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』は、人口5万人未満の市（64.4%）で6割を超えている。また、「毎週日曜、朝6時15分～30分にフジテレビで放映している『おはよう茨城』は、人口5万人未満の市（47.7%）で4割台半ばを超え、「新聞広告により政策的に広報している『茨城県からのお知らせ』『県政キャンペーン』では、人口5万人未満の市（21.8%）で2割を超え、それぞれ最も高くなっている。

性別でみると、「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』は、女性（65.4%）が男性（54.9%）より約11ポイント、「毎週日曜、朝6時15分～30分にフジテレビで放映している『おはよう茨城』は、女性（44.6%）が男性（39.7%）より約5ポイント高くなっている。また、「インターネットで県の情報を配信している『茨城県ホームページ』は、男性（9.8%）が女性（4.8%）より5ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』は、男性では、60代以上で6割台半ばを超え、40代（59.4%）、50代（58.3%）で約6割となっている。一方、女性では50代（78.1%）で7割台半ばを超え、60代以上でも約7割を超え高くなっている。また、「毎週日曜、朝6時15分～30分にフジテレビで放映している『おはよう茨城』は、男性の50代（48.2%）と女性の40代（50.0%）、60代（51.3%）で5割前後と高くなっている。この他、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』（月～金11時30分～12時）内で毎月第1木曜に県庁から放映している『まちむら中継』は、男性の60代以上、女性の70歳以上（28.0%）で2割台半ばを超え、「茨城放送で放送している県からのお知らせ『県だより』『県政スポット』など」は、男性の70歳以上（30.4%）で3割を超え、最も高くなっている。

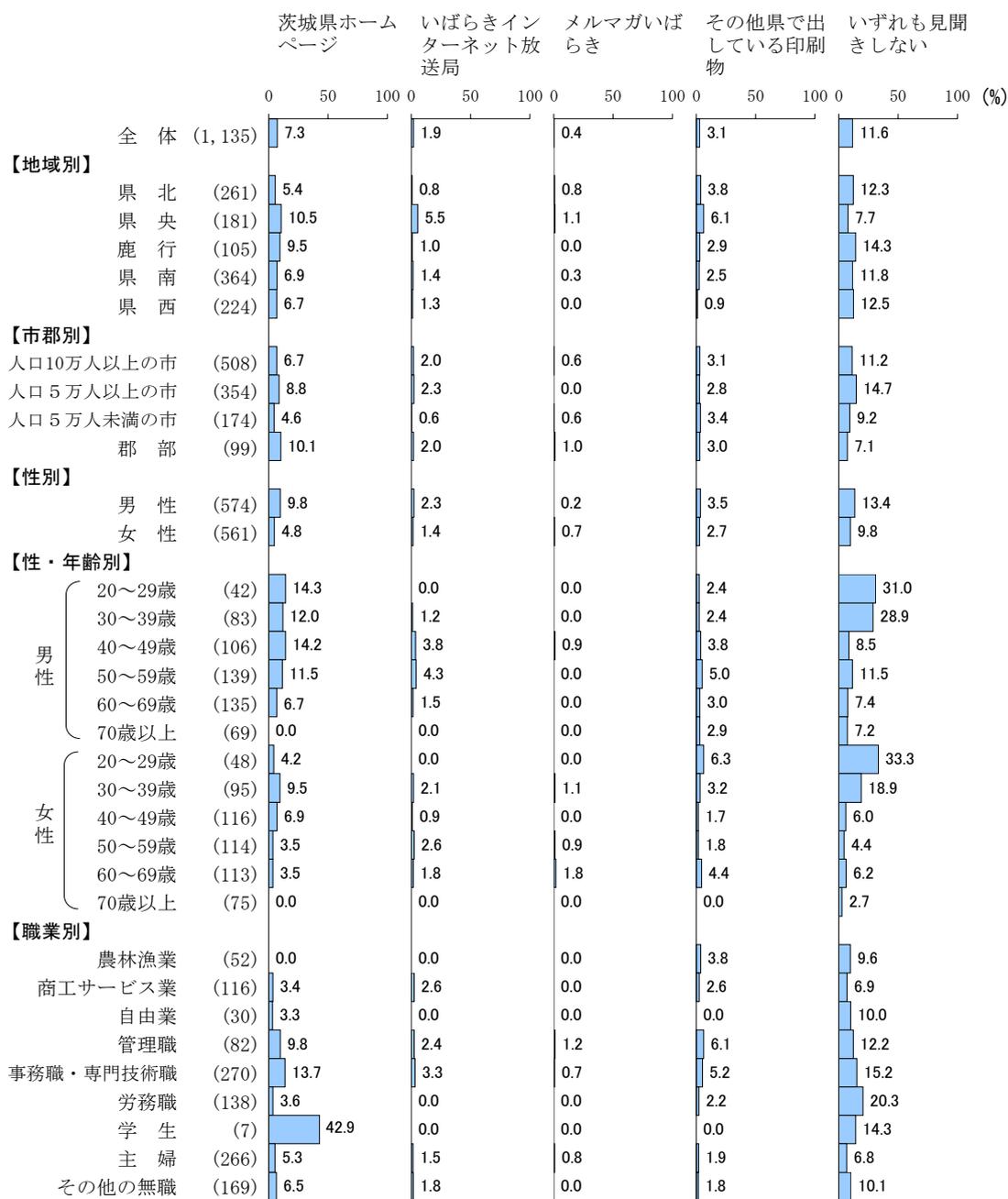
職業別でみると、「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』」は、主婦（70.7%）で7割を超え最も高く、その他の無職（63.9%）で6割を超えている。また、「NHK県域デジタルテレビの番組『とれたてワイドいばらき』（月～金11時30分～12時）内で毎月第1木曜に県庁から放映している『まちむら中継』と「茨城放送で放送している県からのお知らせ『県だより』『県政スポット』など」は、農林漁業で3割を超え、それぞれ最も高くなっている。

図XI 38-2 最近接触した広報媒体
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

〈続き〉 図 XI 38-2 最近接触した広報媒体
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



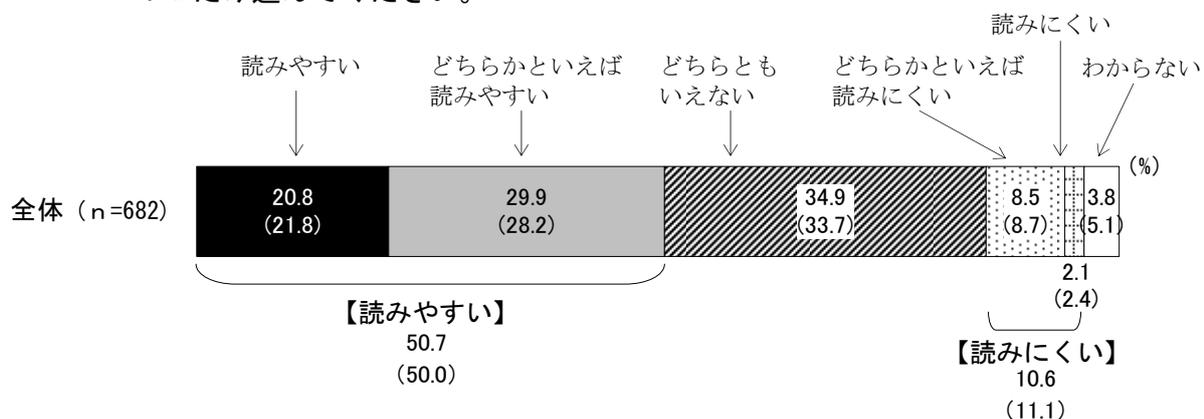
(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(2) 「ひばり」の読みやすさ

—【読みやすい】が半数—

(問38で、「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』」と回答した方のみ)

問38-1 広報紙「ひばり」の読みやすさについて、あなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

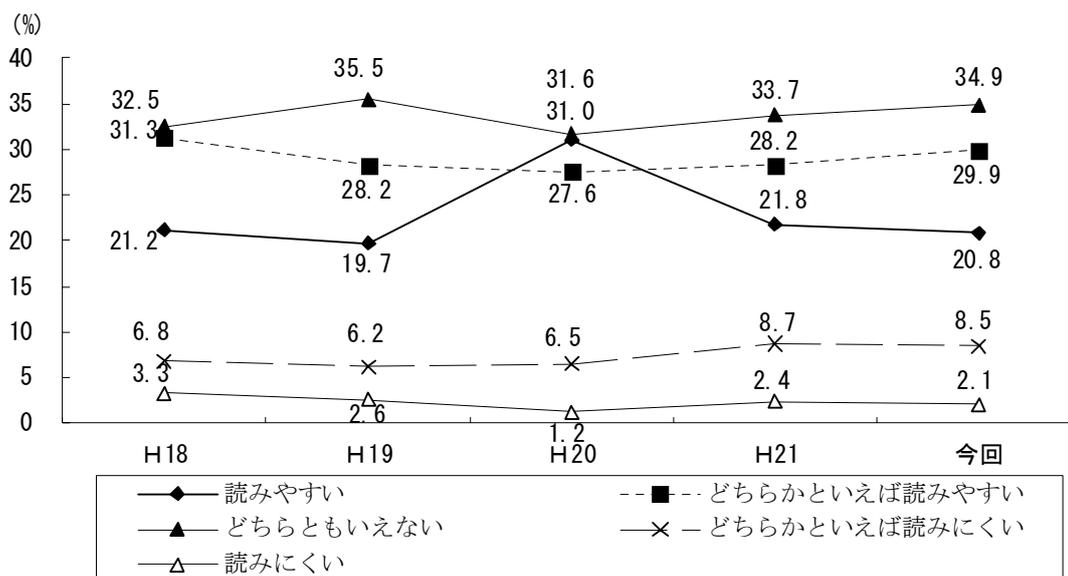


※()内の数値は、平成21年の調査結果

最近接触した広報媒体で「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』」と回答した方に、読みやすさを聞いたところ、「読みやすい」(20.8%)と「どちらかといえば読みやすい」(29.9%)を合わせた【読みやすい】(50.7%)が5割強となっている。一方、「どちらかといえば読みにくい」(8.5%)と「読みにくい」(2.1%)を合わせた【読みにくい】(10.6%)は、1割強となっている。

前回調査と比べると、特に大きな違いはみられない。

図XI 38-1-1 「ひばり」の読みやすさ(時系列)



—【読みやすい】は、県央で約6割台半ば—

地域別でみると、【読みやすい】は、県央（64.8%）で約6割台半ばと高くなっている。

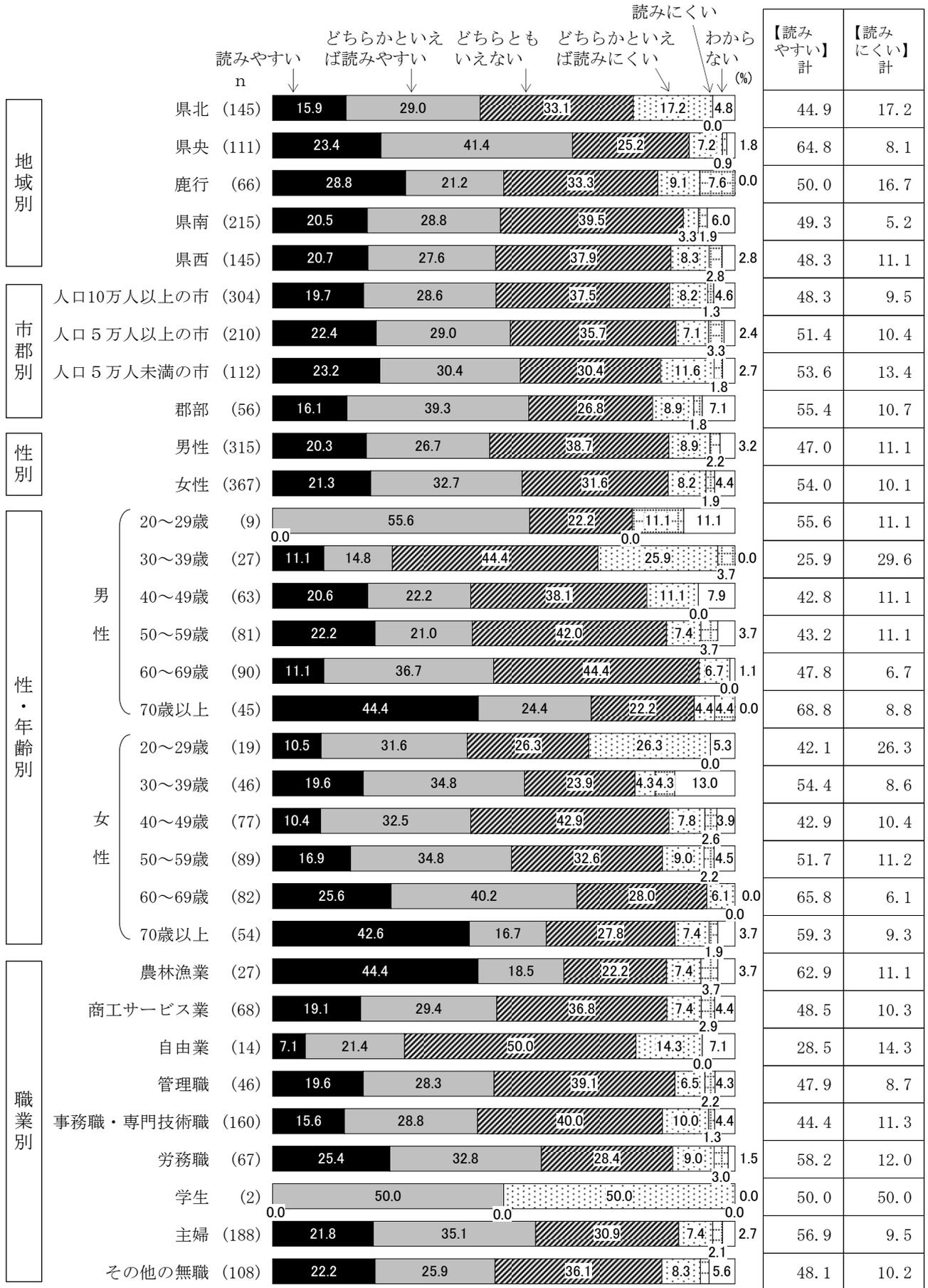
市郡別でみると、【読みやすい】は、郡部（55.4%）で5割台半ば、他の層でも5割前後を占めている。

性別でみると、【読みやすい】は、女性（54.0%）が男性（47.0%）より7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【読みやすい】は、男性の70歳以上（68.8%）、女性の60代（65.8%）で6割台半ばを超えている。また、「読みやすい」は、男女とも70歳以上で4割を超え高くなっている。

職業別でみると、【読みやすい】は、農林漁業（62.9%）が6割を超え最も高く、労務職（58.2%）、主婦（56.9%）で5割台半ばを超えている。

図 XI 38-1-2 「ひばり」の読みやすさ（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）



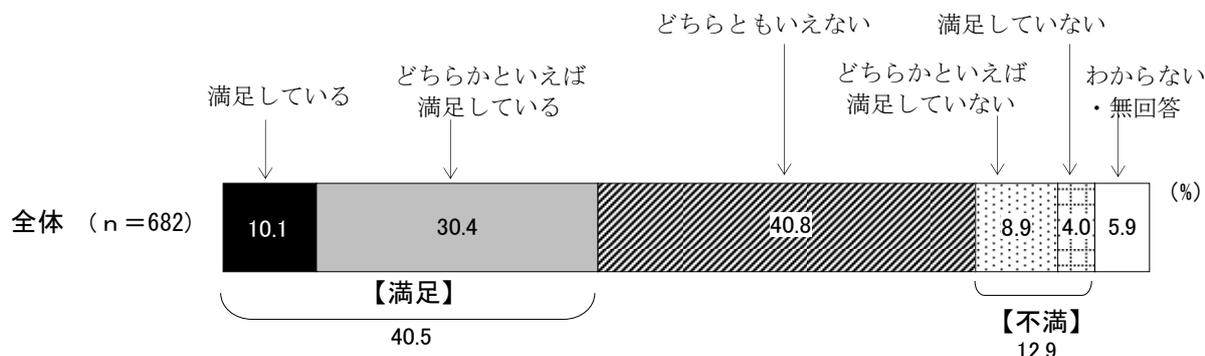
(注) 男性20~29歳，女性20~29歳，自由業，学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

(3) 「ひばり」の満足度

—【満足】が4割強—

(問38で、「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』」と回答した方のみ)

問38-2 広報紙「ひばり」の満足度について、あなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



最近接触した広報媒体で「毎月一回、新聞折り込みで各家庭に配布している広報紙『ひばり』」と回答した方に、満足度を聞いたところ、「満足している」(10.1%)と「どちらかといえば満足している」(30.4%)を合わせた【満足】(40.5%)は4割強となっている。一方、「どちらかといえば満足していない」(8.9%)と「満足していない」(4.0%)を合わせた【不満】(12.9%)は、1割を超えている。なお、「どちらともいえない」(40.8%)は4割を超えている。

—【満足】は県央で5割近く—

地域別でみると、【満足】は、県央(48.6%)で5割近くと最も高く、県南、県西(ともに40.0%)でも4割となっているが、県北(36.5%)、鹿行(37.8%)では4割を下回っている。

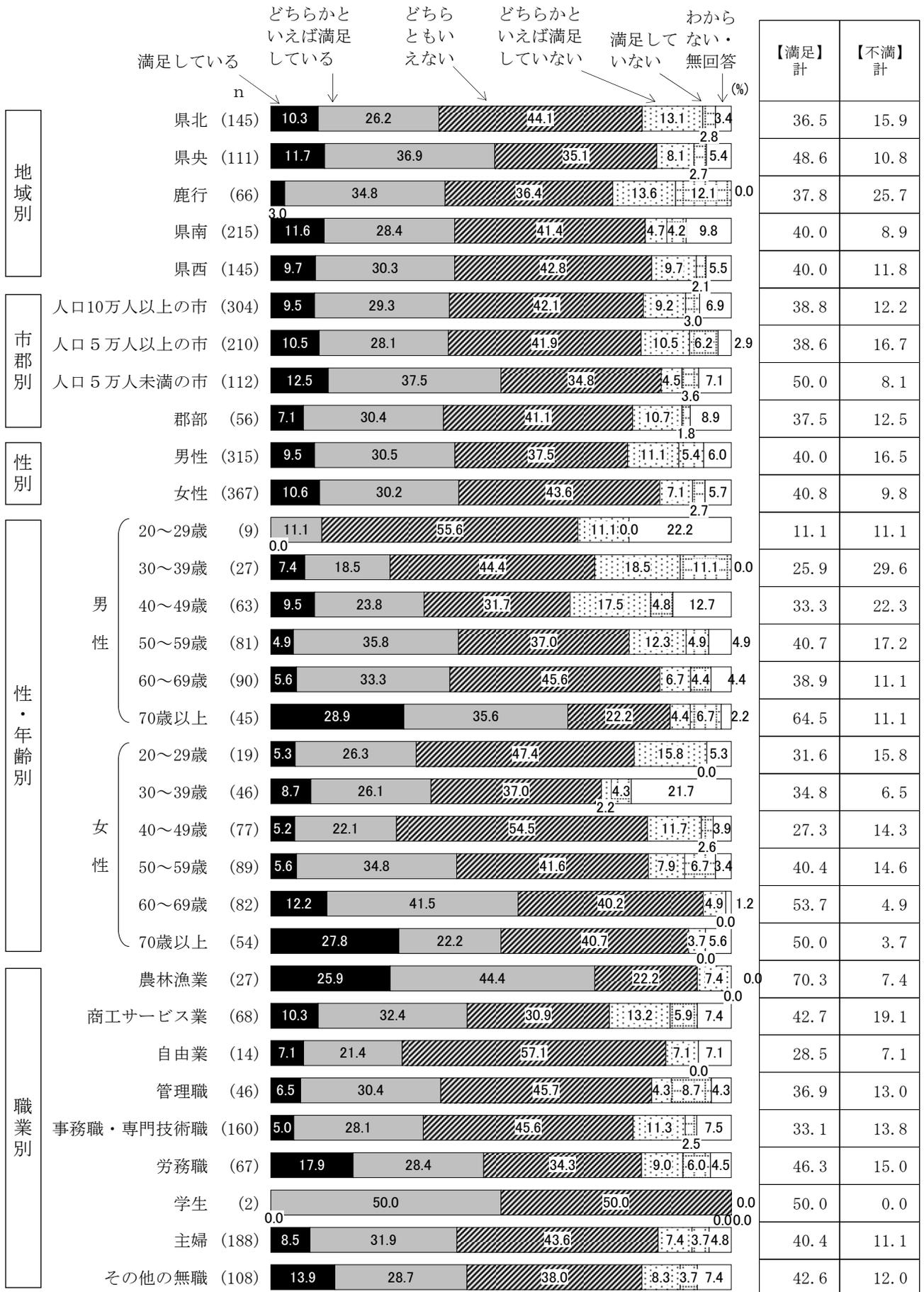
市郡別でみると、【満足】は、人口5万人未満の市(50.0%)で5割と最も高く、他の層でも4割近くとなっている。

性別でみると、【不満】は、男性(16.5%)が女性(9.8%)より約7ポイント高くなっている。

性別でみると、男性では、【満足】は、70歳以上(64.5%)で6割台半ば近くと最も高く、50代(40.7%)、60代(38.9%)でも4割前後となっている。一方、女性では【満足】は、60代(53.7%)と70歳以上(50.0%)で5割を超えて高く、50代(40.4%)でも4割を超えている。【不満】は、男性の30代(29.6%)で約3割と全年代を通じて最も高くなっている。

職業別でみると、【満足】は、農林漁業(70.3%)で7割を超えて最も高く、商工サービス業(42.7%)、労務職(46.3%)、主婦(40.4%)、その他の無職(42.6%)でも4割を超えている。

図 XI 38-2-1 「ひばり」の満足度（地域別，市郡別，性別，性・年齢別，職業別）

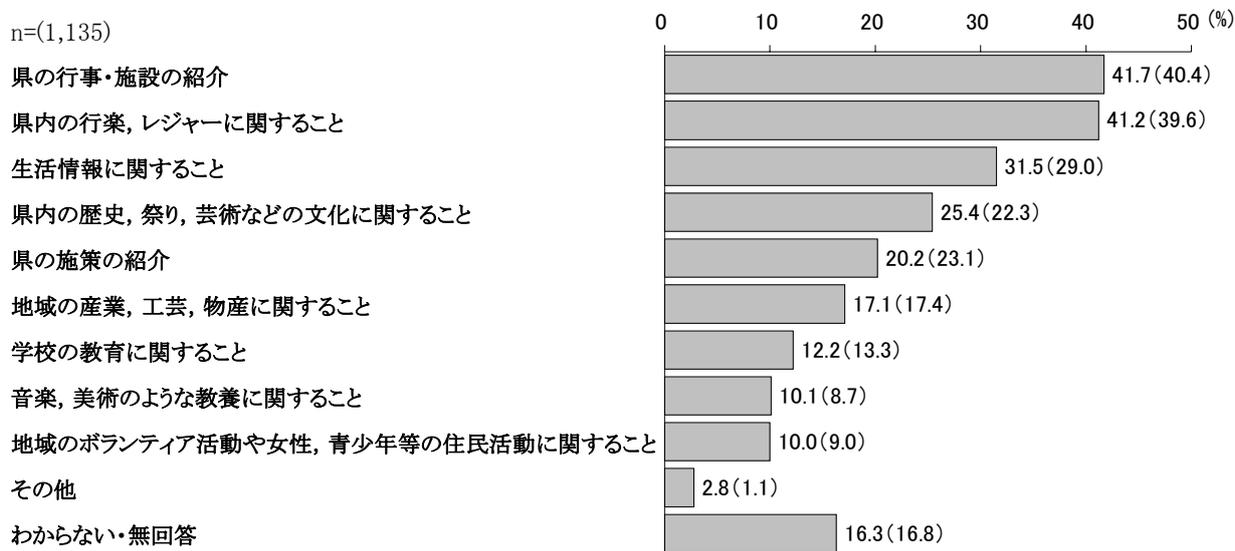


(注) 男性20~29歳，女性20~29歳，自由業，学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

4. 「ひばり」で取り上げてほしいテーマ

—「県の行事・施設の紹介」と「県内の行楽、レジャーに関すること」が約4割—

問39 広報紙「ひばり」について、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。また、現在、読んだことのない方も、どのようなテーマがあれば読みたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

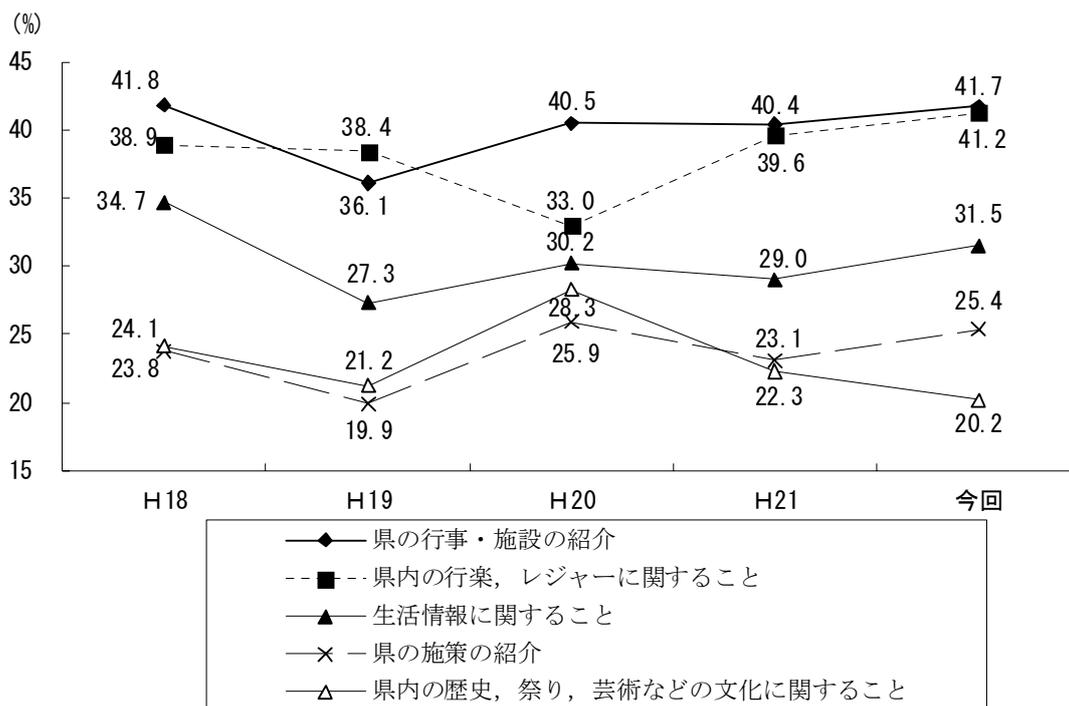


※()内の数値は、平成21年の調査結果

「ひばり」で取り上げてほしいテーマとしては、「県の行事・施設の紹介」(41.7%)と「県内の行楽、レジャーに関すること」(41.2%)が4割を超え高く、次いで、「生活情報に関すること」(31.5%)が3割を超え、「県内の歴史、祭り、芸術などの文化に関すること」(25.4%)、「県の施策の紹介」(20.2%)が2割台で続いている。

前回調査と比べると、いずれの項目も、大きな変化はない。

図 XI 39-1 「ひばり」で取り上げてほしいテーマ（時系列—上位5位）



—「県の行事・施設の紹介」は、県央、鹿行で4割台半ば前後、「県内の行楽、レジャーに関すること」は、鹿行、県西で4割台半ばを超える—

地域別でみると、「県の行事・施設の紹介」は、県央（46.4%）、鹿行（44.8%）で4割台半ば前後、「県内の行楽、レジャーに関すること」は、鹿行（47.6%）、県西（46.0%）で4割台半ばを超えやや高くなっている。また、「生活情報に関すること」は、鹿行（41.9%）で4割を超え最も高く、県北（31.8%）、県南（29.9%）、県西（32.6%）でも3割前後となっている。

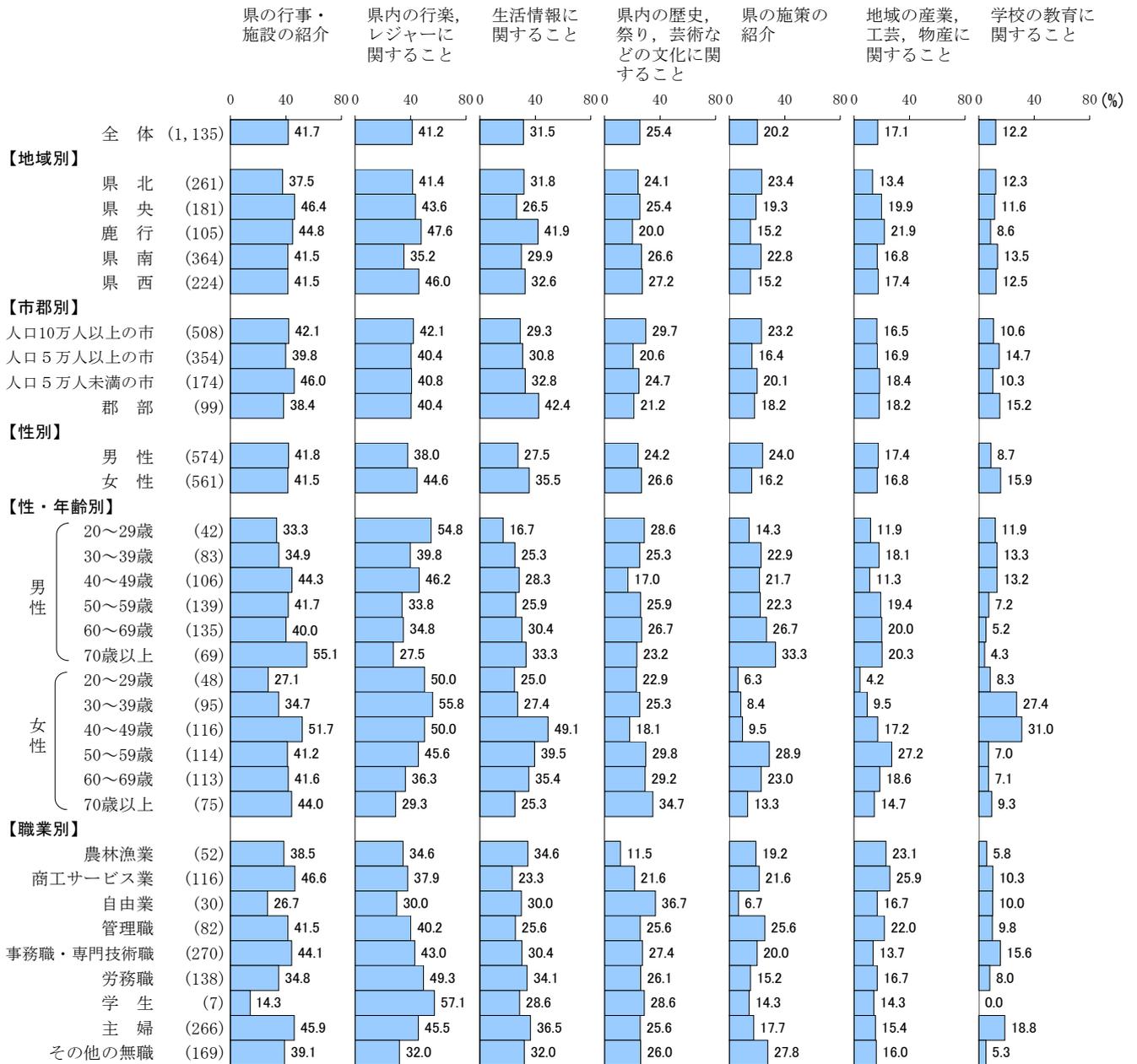
市郡別でみると、「県の行事・施設の紹介」は人口5万人未満の市（46.0%）で4割台半ばを超えやや高く、他の層でも4割前後となっている。また、「生活情報に関すること」は郡部（42.4%）で4割を超え高くなっている。

性別でみると、「県内の行楽、レジャーに関すること」は、女性（44.6%）が男性（38.0%）より約7ポイント高くなっている。「生活情報に関すること」も、女性（35.5%）が男性（27.5%）より8ポイント、「学校の教育に関すること」も、女性（15.9%）が男性（8.7%）より約7ポイント高くなっている。一方、「県の施策の紹介」は、男性（24.0%）が女性（16.2%）より約8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、男性では、「県の行事・施設の紹介」は、70歳以上（55.1%）で5割台半ばと最も高く、40代～60代でも4割を超えている。一方、女性では、40代（51.7%）で5割を超えて高く、50代以上でも4割を超えている。また、「県内の行楽、レジャーに関すること」は、男性の20代（54.8%）と女性の20代～40代で5割を超えている。「生活情報に関すること」については、女性の40代（49.1%）で約5割を占め全年代中最も高くなっている。

職業別でみると、「県の行事・施設の紹介」は、商工サービス業（46.6%）、事務職・専門技術職（44.1%）、主婦（45.9%）で4割台半ば前後と高くなっている。また、「県内の行楽、レジャーに関すること」は、労務職（49.3%）で5割近くと高く、管理職（40.2%）、事務職・専門技術職（43.0%）、主婦（45.5%）でも4割を超えている。

図XI 39-2 「ひばり」で取り上げてほしいテーマ
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)



(注) 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。